


僕は  
普通の会社員として  
働いている

仕事が終わると  
妻のゆうみが  
迎えてくれる

おかえりなさい

どんなに疲れていても  
ゆうみのおかげで  
楽しい毎日を送っています



そんなある日  
思いもよらない  
事件が起きました

実は僕の父が借金をしていて  
今の状況では  
到底返すことができないと  
わかったんです



私も働いて  
少しでも  
支えになるようにする

こんな時でも  
支えてくれるゆうみに  
感謝すると同時に  
情けない自分が  
恥ずかしくなりました

そんな時  
思い切って会社の社長に  
相談することにしました

社長室

自分一人では  
どうにもならなくて  
頼れる人に助けを  
求めようと思ったんです

長年雇っていた  
家政婦が  
やめてしまっただ

うちのム○コも  
懐いていて  
寂しがっているんだ

うちのコのためにも  
家政婦を  
お願いできないか

しかも破格の  
条件でという  
話まで出てきて

ゆうみに  
相談してみたら

彼女は快く  
引き受けると  
言ってくれました

そんな  
提案を受けて

ゆうみは社長の家の  
家政婦として  
働くことになりました

家政婦としての  
新しい生活が始まり  
一生懸命に  
働いていました

最初のうちは仕事について  
色々話してくれて  
俺も励まされていました

でも次第に  
何かおかしいことに  
気づきました

ただいま

ゆうみの様子が変で  
笑顔もどこか  
無理してるように  
感じました

仕事の話をきいても  
曖昧に返され

心配しても  
「大丈夫」としか  
言わない

家政婦で  
なにか問題があると  
想像できたが

ご飯の支度  
しちゃいますね

ドクメン

借金を返さないと  
いけないことから  
「辞めてもいいよ」とは  
言えなかった

ほんとにつ  
どうして  
こんなこと

言うこと  
きかないとパパに  
いっちゃうよ

借金返せなく  
なっちゃうねw

……  
続けて下さい

嫌なのに……

自分から  
続けてほしいなんて  
ほんと変態だなあw

あつ

だめ

イイク

ぬま

あゝあ  
床汚したら仕事  
増えちゃうじゃんw

休んでないでさ...

ぽんぽん

僕のデカチンも  
満足させてよ♥

どうしてこんなに  
気持ちいいのぉ...



私を道具みたいにつ

でる

ドム

ズン



ねえ はやく

何度見ても 大きい！

ズン

ズン



おお くちマンコ 気持ちいい

苦し

ズン



終わらないことを 私は知っている

これだけ だしても...

わ

グム

びゅる



僕のデカチン 挟めるおっぱいは なかなかないよ

専用 おっぱい

ズン

ズン



家政婦の仕事  
中  
何度  
も  
何度  
も  
抱  
か  
れ  
：

1P

0P

〇〇さんへの  
罪悪感も…

与えられる  
快樂によつて

上書きされて  
いきました…



数か月経つと  
ゆうみは  
元気になった

いってきます

やっぱり  
慣れない環境のせい  
だったんだと  
確信しました

いつもより  
ゆうみが  
艶っぽくみえた…

ガキ

最近ご無沙汰な  
せいかな…

旦那に隠れて  
エッチな格好して  
興奮してたんだ？

はい  
そうです

ア  
#



このちんぽ  
欲しいんでしょ  
どうするんだっけ？

ぐんぐん

この卑しい  
メスブタに

ご主人様の  
オスチンポ

ぐんぐん

おん

ご褒美だ!!

よく言えたな  
えらいぞ!

お恵み  
ください♡

RR  
♡



いめんなら...  
○○さん...

あざっ!



私...

完全に  
墮とされ  
ちゃいました...♡